

## エクアドルにおける視聴覚障害者の放送アクセス向上

～地デジ日本方式と「アイ・ドラゴン4」による相乗効果を目指して～

国際協力機構(JICA)は1月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社アステム(大阪府大阪市、大嶋 雄三代表取締役)が提案する「視聴覚障害者の放送アクセスを保障するアイ・ドラゴンを活用した災害復興に関する案件化調査」(エクアドル)を採択しました。

エクアドルでは2016年4月に大地震に見舞われて700名以上の犠牲者が出たことをはじめ、地震、噴火、土砂災害、津波等の自然災害が多発しています。そのような中、特に視聴覚障害者等は一般的に社会の中でもテレビからの情報取得が困難な状況にあり、生活再建と復興プロセスから取り残されることが懸念されています。

株式会社アステムは、テレビ放送技術へのアクセスが困難な視聴覚障害者等のために多機能受信機「アイ・ドラゴン4」を開発し、字幕・手話・音声解説等を付加した放送番組を提供することを目指しています。エクアドル政府は地デジ日本方式の採用を決めていますが、「アイ・ドラゴン4」は地デジ日本方式とも親和性が高く、世界初のIPTV(テレビ放送とインターネット配信を組み合わせた国際標準化された次世代型の双方向サービス)のアクセシビリティの国際標準規格に準拠した製品として注目されています。

同社は、2016年4月に発生した地震災害による復興状況と視聴覚障害者等の現状やニーズ、「アイ・ドラゴン4」の現地適合理化に向けたビジネス展開計画、現地で復興に関わるエクアドル内外の関係機関とのネットワーク構築等に向けた調査を予定しています。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行い、36件が採択されました。今後、契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)2016年度第2回中小企業海外展開支援事業～案件化調査～で36件の採択を決定

URL:[https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130_01.html)

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 業務第一課 菊地
TEL: 078-261-0397 E-mail: Kikuchi.Takeshi@jica.go.jp